

「将来像」「進化のストーリー」「基本理念の意味」の検討経過について

～ 審議会委員の意見を踏まえた検討結果 ～

1. 検討に当たった基本的な考え方	第4次総合計画では、これまでの総合計画で大切にしてきた考え方を継承しながら、人口減少・少子高齢化など社会環境の変化に対応し、次の時代に向けた新たなまちづくりの方向性を示すことを重視しました。 第1回総合計画審議会後に委員の皆様からいただいた将来像、進化ストーリー、基本理念に関するご意見を整理し、その内容を踏まえて検討した結果を取りまとめました。
-------------------	--

2. 将来像について
(1) 委員からいただいた意見
・自然、食、歴史など村上の財産を市民や移住者が誇りと思えることが大切 ・暮らしたいまち、帰りたいまちにしたい ・誰もが安心して暮らし続けられるまち ・つながり、支え合いを大切にしたい ・新しい挑戦が生まれるまちにしたい
(2) 検討結果
【将来像】 つながりと挑戦で、未来をつくるまち村上
(3) 将来像に込めた意味
つながり 人と人、地域と地域、世代や分野を超えた支え合いや連携を表現。人口減少社会において、多様な主体が協力し、新たな価値を生み出す。
挑戦 変化を前向きに捉え、新しい価値や可能性を生み出していく姿勢を表現。守るべきものを守りながら、新たな取組に挑戦することで未来を切り拓く。

3. 進化のストーリーについて
(1) 委員からいただいた意見
・人口減少に正面から向き合う必要がある ・若者が住み続けたい、帰ってきたいまちにしたい ・行政だけでなく、市民・企業・地域が一緒に取り組む必要がある ・守るものを守りながら、新しい価値を創るまちへ進化すべき
(2) 検討結果
【進化ストーリー】 これまで大切にしてきた「あふれる笑顔」と人と地域のつながりを礎に、時代の変化を前向きに捉え、新たな挑戦によって未来を切り拓くまちへ
これまで大切にしてきた「あふれる笑顔」を土台として これから目指す姿「変化を力に」「新たな挑戦」「未来を切り拓く」 人口減少などの課題に対応し、持続可能で希望ある未来へ

4. 基本理念の意味について
(1) 委員からいただいた意見
創る 地域資源の新たな価値、新しい仕組み賑わいを創る 育む 人材、地域、産業、誇りを育む 広げる 交流、連携、共創の輪を広げる
(2) 検討結果
【まちづくりのエンジン】 創る 新たな価値・仕組み・賑わい・未来を創る 育む 人・地域・産業・誇りを育む 広げる つながり・交流・連携を広げ、未来へつなげる
創る ・地域の資源の価値を高める ・新たな産業を生み出す ・未来につながる仕組みを創る
育む ・子どもと若者を育てる ・地域の産業を育てる ・誇りと愛着を育む
広げる ・地域内外の交流を広げる ・連携を広げる ・共創の輪を広げる

5. 全体整理

区分	これまで		第4次総合計画での進化
将来像	あふれる笑顔のまち村上		つながりと挑戦で、未来をつくるまち村上
大切にする視点	笑顔・元気		つながり・挑戦
進化の方向	幸せや元気があふれるまち		変化に対応し、未来を切り拓くまち
基本理念	創る・育む・広げる		創る・育む・広げる（連携・共創の視点を深化）

委員の皆さまからいただいたご意見を踏まえ、「つながり」と「挑戦」を新たな軸として将来像を設定するとともに、基本理念「創る・育む・広げる」の意味を時代の変化に合わせて見直し、持続可能で希望ある未来を目指す計画としました。